

「第73回日本公衆衛生学会総会」に参加しました

平成26年11月5日～7日にかけて栃木県文化センター（宇都宮市）で開催された「第73回日本公衆衛生学会総会」に参加しました。



第73回日本公衆衛生学会総会

The 73rd Annual Meeting of Japanese Society of Public Health
=メインテーマ=

連携と協働：理念から実現に向けて

会期：2014年11月5日(水)～7日(金)

会場：栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市）

学会長：武藤 孝司（筑波医科大学公衆衛生学講座 教授）

<http://www.c-linkage.co.jp/jsph73/>

演題	公募シンポジウム:2014年1月15日(水)～2月28日(金)
券種	一般演題:2014年4月1日(火)～5月30日(金)

運営事務局
株式会社コンプレックスリンクージ
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町K&Sビル
TEL:03-3263-8688 FAX:03-3263-8893 E-mail: jsph73@c-linkage.co.jp

当センターの鈴木特任助教より、「かかりつけ医への道路距離が中山間地域の高齢者の健康指標に与える影響の検討」と題して口演発表を行いました。

この演題は、昨年の医学研究実習で学生が収集した貴重なデータを使用した解析の結果です。

フロアから活発な意見をいただき、今年の学生が集計を進めている調査の結果と合わせて、今後さらに解析をすすめていきたいと考えております。

この他にも、ソーシャルキャピタルや多職種連携、口腔保健など多岐にわたる分野の発表や講演が連日行われ、大変興味深く勉強になりました。